

平成17年度
事業報告書

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

平成17年度 事業報告書

総括的概要

新しい町、筑前町が誕生したことにより、我が社会福祉協議会も二つの町の社会福祉協議会が合併し、筑前町社会福祉協議会となりました。

合併協議会の中で十分な事務擦り合わせがなされたうえで、機能を考え本所、支所という部署を配置した所ですが予想以上に、事業面や管理面で戸惑ったところがありました。

このような中、地域を代表する社会福祉法人として、公共的立場から地域福祉の中核的役割を担っており、住民の福祉課題の把握に努め、町民各層と協同して自主的・主体的サービスを推進し地域福祉の向上に努めてきました。

高齢者福祉事業としては、「いきいきふれあいサロン事業」を地域住民やボランティア等の人たちと広げ、年度末には25地区4,901人と推進する事ができました。さらにメニューの中身を充実させ、継続して開催していく事を心がけ楽しい地域作りに邁進していきます。

青少年福祉事業では、小学生や中学生を対象とし、福祉施設の入居者の方とのふれあいを各施設の方々等のご協力を得て、日帰り及び1泊2日のふれあい体験学習を実施しました。今後も福祉教育の土壌を培い育みひろげて行くよう努めていきます。

その他の福祉事業についても、重大な役割を担っていただけるボランティア団体等の育成、支援が、今後の重要な課題であることを充分認識し事業の推進拡大を行なっていきます。

事項別状況

1. 役員会及び、その他の会議

(1) 理事会	7回
(2) 評議員会・福祉委員会	6回
(3) 監査会	2回
(4) 役職員の他社協視察研修	1回
(5) 事務局の定例会	12回
(6) 福岡県社会福祉大会	4名参加

2. 老人福祉事業

(1) ふれあいいきいきサロン

70歳以上の在宅高齢者を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域みんなが支えあい、共に元気で楽しく一日を過ごし心通わせる場「よりあい」で、高齢者の社会参加の喜びおよび、健康維持ができる体力・活力が養われています。

① 実施状況

・実施区	三輪地区	17区
	夜須地区	8区
・会員数		677名
・延べ実施回数		226回
・延べ参加者数		4,901名

<平成17年度実施区数と延べ参加者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実施回数	9	16	14	17	14	14	22	24	15	17	20	24	20	226
延参加数	217	355	332	410	348	280	459	514	683	397	473	433	4,901	

<平成17年度区別実績と会員数>

区名	男性	女性	合計	開催回数	参加人数
大塚	17	18	35	10	161
弥永	13	28	41	10	263
依井	1	24	25	11	241
依井二	5	31	36	13	393
高田	15	25	40	12	230
新町	12	26	38	7	190
野町	14	17	31	9	122
原地蔵	11	19	27	7	127
久光	4	28	32	12	224

栗田	1	23	32	12	276
森山	6	18	24	7	123
当所	3	13	16	11	193
上高場	8	23	31	12	404
大久保	10	12	22	6	72
山隈	9	31	40	8	269
高上	2	19	21	13	214
朝園	2	18	20	13	364
篠隈篠隈	8	14	22	8	168
篠隈	5	11	16	7	95
松延本村	8	12	20	7	112
松延新道	6	21	27	6	140
下曾根田	7	12	19	7	103
福島	10	21	31	6	154
砥上	0	22	22	6	127
中牟田村	2	15	17	6	136
合計	179	501	677	226	4,901

* 開催回数と参加人数には、合同サロンの実績を加算しています。

② 転倒予防教室・痴呆予防教室・食事教室

健康福祉課の協力を得て、平成17年5月から平成18年の2月の間に各区に割振り実施いたしました。

③ サロン代表者会議

- ・平成17年 4月22日(金) 各区からの参加者 57名
17年度の取り組みについてと会員からのサロンの感想を発表して頂きました。
- ・平成17年10月25日(火) 各区からの参加者 54名
サロン合同交流会についてと会員からの意見発表を行いました。
- ・平成18年 3月 3日(金) 各区からの参加者 50名
問題点や今後の課題を発表してもらいました。

④ サロン支援ボランティア研修会

- ・平成17年6月30日 参加者 57名
講師に日本折り紙協会の池田紀子先生を招き折り紙（金魚・お星様・おしゃべりカラス）の折り方を習いました。
この作品は各サロンで創作として行い会員さんに大好評でした。

⑤ 小学生との交流会

夏休みを利用して、小学生が地域の高齢者と交流を行い新たなサロンのあり方に挑戦しました。参加者からは、大変なごやかで楽しく有意義でした。また、参加したい。との言葉がありました。

- ・開催区 高上区・依井二区・久光区・上高場区・朝園区(2回)・新町区
大塚区
- ・参加小学生 99名 PTA 21名

東小田小学校3年生がクラス毎に分かれて「お年寄りとおふれあおう」とサロンの会員と交流を行いました。

- ・開催区 篠隈新道区・福島区
- ・参加小学生 58名

⑥ 他区との交流会

サロンの代表者やお世話人2～3名が他区のサロンを訪問し、なごやかに交流を行ないました。訪問先から運営方法などを学び、改善に取り組みました。

- ・期間 平成17年11月～12月
- ・参加者 46名

⑦ 春や秋の季節には、9区が花見を行い大変喜ばれました。

- ・延べ参加者 205名

⑧ ふれあいいいきいきサロン合同交流会

三輪地区の17区を2班に分けて「めくばり館」において開催しました。

- ・参加者 417名

⑨ 地域で取り組む高齢者の健康づくりと疾病予防事業の開催

県社協主催で、講師に健康科学研修所の指導士を招き、日頃短時間で出来る転倒骨折を防ぐ為の体操とウォーキングを学びました。

- ・平成18年2月21日(火) 上高場区 33名参加

(2) 独り暮らし老人のつどい

閉じこもりがちな、70歳以上の独り暮らしの自立を支える生きがいくつと、高齢者相互の交流と親睦を深めていくことを目的に、交流会を行ないました。

- ・平成17年7月4日(月) コスモスプラザ 敬老館
保健師の講話と体操 独居 43名 老人部会 9名
ボランティア 10名 社協他 10名
合計 72名
- ・平成17年11月7日(月) めくばーる めくばり館
食生活改善推進部との交流
独居 57名 老人部会 10名
食進部 22名 ボランティア 8名
合計 97名

(3) 銀嶺会

社会福祉センターにおいて独居老人の会食会を年8回開催しました。

- 延べ参加者 独居老人 198名 ボランティア 89名

(4) 金婚祝賀会

女性センターにおいて、結婚50年を迎えられた方をお祝いする、金婚祝賀会を平成18年3月13日(月)に行いました。

・平成17年度筑前町第1回金婚会	新会員数	31組	59名
	既会員数		69名
	出席者数		128名

(5) 敬老の日記念品贈呈

9月の敬老の日には88歳・99歳を迎えられる老人に記念品を贈呈しました。

99歳(白寿)	5名
88歳(米寿)	107名

3. 青少年福祉関係

(1) 体験学習

ア. 小学生の福祉施設日帰り体験学習

朝倉苑・菊池園・菊水苑・城山荘・朝老園・第二野の花学園に分かれて、お年寄りや障害者とのふれあい体験学習を行いました。

平成17年8月3日	三輪小学校
平成17年8月8日	東小田小学校
平成17年8月9日	三並小学校
平成17年8月10日	中牟田小学校

<参加者>

	児童	教諭	P T A	部会	その他	合計
三輪小	32	2	9	4		47
東小田小	5	2	2	1		10
三並小	8	1	0	2		11
中牟田小	8	3	0	1	3	15
合計	53	8	11	8	3	83

イ. 中学生の福祉施設日帰り、一泊二日体験学習

朝倉苑・菊池園・菊水苑・城山荘・第二野の花学園に分かれて、体験学習を行い、お年寄りや障害者とのふれあいボランティア体験を通して社会福祉の芽を育てました。

平成17年8月18日～19日	三輪中学校
平成17年8月24日	夜須中学校

<参加者>

	生徒	教諭	P T A	部会	合計
三輪中	81	16	4	6	107
夜須中	8	2	0	2	12
合計	89	18	4	8	119

(2) クリスマス交流会

ア. 三輪小学校4年生が朝倉苑・菊池園・菊水苑・朝老園に分かれて訪問しお年寄りや障害者とクリスマス交流会を行いました。

・平成17年12月2日

児童	146名	教諭	4名		
青少年部会	3名	三輪小健康福祉委員	9名		
社協	5名			合計	167名

イ. 三並小学校5年生が第二野の花学園を訪問し施設利用者とクリスマス交流会を行ないました。

・平成17年12月7日

児童	18名	教諭	1名		
社協	3名			合計	22名

(3) 福祉教育読本「ともに生きる」を三輪小学校4年生、東小田小・中牟田小・三並小学校5年生全員に配布しました。

(4) 三輪小学校「ボランティアクラブ」支援

年間を通して体験学習(高齢者疑似体験・車椅子・アイマスク)や手話、点字の学習指導を行ないました。

(5) 職場探検

子育て支援の一環として、町内の職場やそこで働く人達と接することで、子どもたちの生きる力と郷土愛を育む取り組みを行ないました。

・平成17年 6月 4日(土) 井上豆腐店 (山隈)

弥永区子供会	14名				
保護者ボランティア	4名	社協	2名	合計	20名

・平成17年 8月26日(金) 前田畳襖店 (原地蔵)

野町区子供会	9名				
保護者ボランティア	4名	社協	2名	合計	15名

・平成17年11月19日(土) オニズカバイオシステム (東小田)

新町区子供会	11名	さんりんしゃ	1名		
保護者ボランティア	2名	社協	1名	合計	13名

・平成18年 3月28日(火) 安野焼(松延)

原地蔵区子供会	9名				
保護者ボランティア	2名	社協	1名	合計	12名

4. 障害者(児)福祉事業

障害者の自立と社会参加を促進するために、各種行事に積極的な参加を呼びかけています。身体障害者福祉大会を開催し、相互の交流を図っています。

(1) 筑前町身体障害者福祉大会

平成17年9月27日 農業者トレーニングセンター
浄光寺住職による講話と、午後からレクリエーションを行ないました。

障害者	45名	ヘルパー	2名
講師	1名	保健部会	6名
ボランティア	6名	社協他	9名

合計 69名

(2) 手話講習会の開催

手話の会による手話講座を昼の部、夜の部に分けて6ヶ月間講習を行いました。

- ・期間 平成17年5月10日～10月27日
- ・修了者 昼の部・夜の部あわせて 13名

(3) ガイドボランティア養成講座

視覚障害者とガイドボランティアの交流、ガイドのポイントを学ぶ講座を開催しました。

平成17年 6月22日 (水)

ボランティア 13名 視覚障害者 4名

平成18年 3月17日 (金)

ボランティア 12名 視覚障害者 5名

(4) 車椅子等の福祉機器貸し出し

年間実績 ・車椅子 44件 ・電動ベット 10件

(5) 重度身体障害者(児)者遠足会

障害者手帳1・2級の重度障害者を対象に、障害者間、世代間の交流を図り外出する機会をつくる遠足会を行いました。

平成17年11月14日

福岡市アイランド花どんたく見学 39名

(6) 障がい児の遊び場「コスモスキッズ」

ボランティア、町民が障害を持つ子供達とふれあう事で障害の理解を深め、親の思いをわかち合い協力、支援できる交流会を行ないました。

- ・年8回 開催 延べ参加者 163名 ボランティア 58名

(7) 在宅介護者のつどい

在宅で、寝たきり、障害者・虚弱者・認知症等の家族を抱える介護者の悩みや不安などについて情報交換を行ないました。また、介護講習を行なうとともに介護人の心身のリフレッシュを図ってもらうために、介護者のつどいを行いました。

- ・平成17年7月11日(月) 健康福祉館 多目的室

健康運動指導士による健康づくりの講話と実技

介護者 24名 保健部会 9名
 講師 1名 社協・ボランティア他 8名 合計 42名

・平成17年11月24日(水)

太宰府市 九州国立博物館観覧

介護者 22名 社協 5名

合計 27名

5. 母子・父子・寡婦福祉事業

(1) 母子・父子家庭ふれあい遠足

母子・父子家庭の方々を対象に、日頃の苦労をねぎらいひとときのリフレッシュを図る遠足会を行ないました。

・平成17年11月20日(日)

熊本県 水本オレンジガーデン みかん狩りと炭火焼バーベキュー

保護者 13名 児童 19名

社協関係 5名

合計 37名

(2) 白百合会のつどい開催

夫と死別又は離別された時、当時15歳以下の子どもを扶養され25年以上育てられた母親のご苦労をねぎらい、励ましのつどいを開催し交流を行ないました。

・平成18年3月20日(月) 健康福祉館 多目的室

新会員 2名 白百合会会員 27名

来賓 6名 母子会支部長 6名

ボランティア3名 社協 5名

合計 49名

6. 心配ごと相談事業

日常生活の悩みや心配ごとの相談窓口として、他の公的機関との連携を図り問題解決に努力いたしました。

(1) 心配ごと相談

・毎月開催 第1、第3の金曜日 午後1時～4時 健康福祉館

・毎月開催 第2、第4の金曜日 午後1時～4時 社会福祉センター

・相談員 民生委員 4名 調停相談員 2名 人権相談員 4名
 行政相談員1名 母子相談員 2名

・相談件数 127件 ・開催(延べ)回数 36日

平成17年度心配ごと相談実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数
計	14	12	16	13	8	10	7	9	7	11	8	12	127

○ 相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解決内容				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生計(経済的な面から見た生活)	9	4			5	
年金	2	1			1	
生業・職業	4	1			3	
住宅	5	3			1	1
家族	13	7	2		2	2
結婚	2	1			1	
離婚	5	3			1	1
健康・衛生	5	3			1	1
医療	8	3		1	3	1
精神衛生	2	1			1	
法律・人権						
財産	34	10	2		14	8
事故	3	1			1	1
児童福祉・母子保健	2				2	
教育・青少年	1				1	
心身障害者(児)福祉						
母子・父子福祉						
老人福祉	1	1				
苦情	6	2	1		1	2
その他	25	10	1	1	7	6
合計	127	51	6	2	45	23

(2) 心配ごと相談員研修会

・平成17年 7月28日(木) 健康福祉館 多目的室
相談員及び民生児童委員 42名

7. ボランティアの育成、支援事業

(1) 朗読ボランティア養成講座

一日目は朗読テープ利用者から感想や朗読ボランティアとの関わり、二日目は元NHKチーフアナウンサーに発声や朗読の基礎の指導を受けました。

・開催日 平成18年 1月17日(火)・24日(火)

- ・場 所 めくばーる 健康福祉館
- ・参加者数 42名

(2) 筑前町ボランティアのつどい

筑前町ボランティア連絡協議会を中心に、町内でボランティア活動をしている団体と住民に呼びかけて開催し、ボランティア活動報告と濱砂圭子氏による講演を行いました。

- ・開催日 平成18年 2月 5日 (日)
- ・場 所 コスモスプラザふれあいホール 9時30分～12時
- ・参加者数 192名

8. 共同募金事業

(1) 赤い羽根共同募金には、毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その共同募金は、福岡県共同募金会に納金後、筑前町社会福祉協議会に配分金として配分されます。配分金は地域福祉活動の貴重な財源となっております。

< 募 金 >

種 別	件 数	募金額 (円)
戸別募金	7,673	4,601,760
企業募金	335	1,504,766
個人募金	267	796,960
その他の募金	58	581,767
合 計	8,333	7,485,253

< 資材募金 >

種 類	件 数	募金額 (円)
バッチ	57	28,500
タイピン	18	18,000
図書カード	229	240,550
クオカード	235	255,300
合 計		542,350

募金・資材実績総額 8,027,603円

(2) 歳末たすけあい運動募金

歳末たすけあい募金には、毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その配分金は、新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人々が地域で安心して新年を迎えられるように、支援する貴重な財源となっております。

<区別募金実績>

大塚	17,748	弥永	21,000	依井	124,582	依井二	119,253
高田	47,400	新町	58,200	野町	44,000	原地蔵	86,400
久光	29,150	栗田	65,400	森山	22,410	当所	41,337
上高場	72,500	大久保	9,900	山隈	64,628	高上	34,200
朝園	59,265	南高田	18,300	櫛木	3,026	三箇山	5,074
黒岩	3,000	小路	9,050	勝山	10,100	陣高	8,700
一八	13,500	畑嶋	16,848	長者町	28,674	玉虫	17,570
坂根	6,500	上曾根田	19,141	下曾根田	8,400	三牟田	11,250
砥上	15,800	吹田	16,940	西田	8,200	赤坂	9,400
松延本村	20,947	松延新道	44,008	石櫃	26,894	中牟田町	43,600
中牟田村	42,487	下原	13,878	朝日東	38,570	朝日西	108,496
二	60,686	篠隈	106,515	篠隈新道	49,585	丸町	7,610
東小田上	58,206	東小田下	15,681	福島	129,280	四三嶋	30,300
下高場	119,252	安野	41,018				

歳末たすけあい運動募金総額 2, 103, 859円

(3) 歳末見舞い金

皆様からいただいた募金は、真心のこもった贈り物として、暖かいお正月をむかえられるように「見舞金」として、次の方々に贈りました。

また、地域福祉・障害者施設支援事業にも役立たせていただきました。

対象者	件数	金額
虚弱者	20	100,000
寝たきり老人	10	50,000
身体障害者1級	55	275,000
療育手帳保持者	10	80,000
準要保護児童世帯(1名)	41	287,000
準要保護児童世帯(2名)	23	207,000
準要保護児童世帯(3名)	8	96,000
支援の必要な世帯(独居老人)	112	560,000
支援の必要な世帯(準要保護一般)	1	7,000
計	280	1,662,000

地域福祉・在宅福祉サービス事業

事業内容	件数	金額
住宅環境整備補修事業	1	49,665
障害者共同作業所支援	5	284,566
クリスマス交流会	6	107,628
計	12	441,859

(4) バス停留所の管理

バス停留所の待合所はボランティアの方々がいっつも清潔に清掃され、気持ちよく利用できるようになりました。

・バス停

新町（下り） 久光（上り） 原地蔵、太刀洗駅（北側・南側）

依井（上り） 栗田（上り・下り） 当所（上り・下り）

山家道（上り・下り） 朝日（下り） 石櫃（上り・下り）

松延（上り・下り） 長者町（上り・下り）

・社協職員により、バス停の点検を兼ねて年2回清掃を行いました。

9. 広報活動の推進

社協の事業を広く町民にお知らせし、福祉事業への理解と支援をお願いするために様々な情報提供を行いました。

(1) 町が発行する「広報ちくぜん」に毎月情報を掲載しています。

(2) インターネットにホームページを開設し、毎月情報を掲載しています。

(3) 「ちくぜん社協だより」を年3回発行し福祉事業内容を紹介し啓発に努めました。

(4) 赤い羽根共同募金については、チラシを作成し全家庭に配布、ご協力をお願いしています。

(5) 「心配ごと相談」や「配送ボランティア募集」等の案内を町内放送にて適時に行い情報の提供をしています。

10. 貸付事業

(1) 育英就学資金貸付事業

高等学校以上の学校に進学を希望する低所得世帯の子弟に対し、就学の機会を与えるため就学支度金を貸付、以って安定した生活環境の下で就学に専念し、社会人としての教養を高めることを目的に「育英就学資金」の貸付制度があります。

・平成17年度現在の貸付状況

単位 人・円

年度当初貸付額		年度内貸付額		年度内返還額		年度末貸付残額		滞納額	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
10	1,680,000	0	0	3	194,000	9	1,486,000	4	638,000

貸付者 10名（督促者3名、現在返済中3名、在学中3名、返済完了者1名）

(2) 県社協生活福祉資金貸付事業

低所得者・障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定をした生活を送れるようにすることを目的とした貸付事業です。

・平成17年度現在の貸付状況

平成17年度現在の貸付者 17名

平成17年度 貸付 1件